# 中国語で、お話ししてみませんか?

# 「語りかけボランティア」募集!



### 「語りかけボランティア」とは・・・

中国帰国者1世世代の方々は、高齢化に伴い、現在、徐々に 介護が必要な年齢となっています。

しかし、介護サービスを利用する際、言葉や文化の違いから、 介護事業所の職員や周りの利用者とのコミュニケーションがう まくとれず、孤立感や寂しさを感じている方がいらっしゃいます。 このような帰国者の不安を軽減し、その場になじめるよう、 介護サービス事業所等を訪問し、中国語で帰国者の話し相手になっていただく方を「語りかけボランティア」といいます。



### 『語りかけボランティア』の活動内容は・・・

活動内容 月に1~2回程度、1回あたり1時間程度。

中国帰国者が利用する介護サービス事業所(デイサービスセンター等)を訪問し、帰国者とお話しをします。また、訪問介護員[ホームヘルパー]に同行し、そのサービス時間内に、帰国者宅でお話しをすることもありますが、ボランティアさんが、帰国者宅に単独で訪問することはありません。

訪問先等 当センターで、帰国者とボランティアさんの希望等を調整し、なるべく近くの

訪問先を調整します。

事前研修 活動を行う前に、語りかけボランティアとして必要な知識を身につけるため、

研修(語りかけボランティア養成研修)を受けていただきます。

研修の日程等は、センターにお問い合わせください。

その他 活動に対する謝金等はございませんが、ボランティアさんのご自宅から訪問先

までの交通費(往復)をお支払いします。

語りかけボランティア訪問(介護支援事業)は、九州中国帰国者支援・交流センター 運営事業(厚生労働省委託事業)として、福岡県社会福祉協議会が実施するものです。

### 申し込み・問い合わせ先

九州中国帰国者支援・交流センター(担当:砂原) 〒816-0804 福岡県春日市原町3-1-7 クローバープラザ東棟4階 TEL (092) 589-6667 FAX (092) 589-6665

# 「語りかけボランティア」の条件とは...

性別・国籍不問

帰国者への理解があり、高齢者とのやり取りを楽しめる方

研修がありますので、現在帰国者のことを知らない方でも可能です。

日常会話程度の中国語を話せる方

月1~2回の活動ができる方(交通費実費支給)

<申込方法>・郵便またはFAXでお申込みください。

・電子メールでのお申込みも可能です。

(登録申込書のデーターが必要な方はご連絡ください)

E-mail: (E-mail: kyushu-center@tiara.ocn.ne.jp)

#### 【中国残留邦人とは】

1945(昭和20年)当時、中国の東北地域(旧満州地区)には、開拓団など多くの日本人が居住していました。同年8月9日のソ連軍の対日参戦により、戦闘に巻き込まれ、避難中の飢餓疾病等により多くの方が犠牲となりました。

このような中、肉親と離別して孤児となり、中国の養父母に育てられたり(中国残留孤児)、生活の手段を失いやむなく中国人の妻(中国残留婦人等)になるなどして、中国に留まった方々を総称して「中国残留邦人」といいます。

中国残留邦人の方々は、戦後の混乱の中、中国に残留を余儀なくされ、長年筆舌に尽くせない御苦労がありました。ようやく日本に帰国されたときは、年齢を重ね中高年となっていたため、日本の教育も受けられず、日本語の習得には大変な困難があり、言葉が不自由なため就労も思うようにはいかず、安定した職も得られませんでした

永住帰国した中国残留邦人及びその二世三世等の親族(中国帰国者)は言葉や生活習慣の違いから、地域社会に溶け込むのが難しく、経済的にも社会的にも自立することが困難な状況にあります。

- ・孤立感の解消の役に立てていると思う。ボランティアをして良かった。
- ・帰る時にも玄関まで見送ってくれる。訪問すると嬉しそうに接してくれる。
  - ・この活動をすることで親孝行をした気持ちになれ、大変ありがたい。
    - ・教えられることが沢山あって、自分のためにもなった。



ボランティアの感想



利用者(中国残留邦人)の感想

- ・ボランティアが来る日が待ち遠しい。
- ・月に1、2回来てくれるが、もっと来て欲しい
- ・養父母や家族のことなど昔ばなしができるので楽しい、ほっとする。
- ・事業所の職員や他の利用者とコミュニケーションが取れるので有難い。
  - ・献立の内容を中国語で教えてもらい、食事が楽しみになった。
  - ・普段行っている体操やゲームのルールを中国語で教えて もらい、楽しくなった。